



WE21 Japan Newsletter
世界とつながる×地域にひろげる



WE21ジャパンが取り組んでいること



Information

平和冊子「ゆらぐ日本の平和」を発行しました

戦後80年になり、被爆国でありながら核武装の声も聞かれるようになりました。

はたして軍事力で平和な社会を築くことができるのでしょうか。なぜ「戦争をしない国」から「戦争ができる国」になってしまったのか、立ち止まって考えてみませんか？

*ご希望の方はご連絡ください。郵送の場合には送料のご負担をお願いいたします。
A4サイズ 28ページ カラー印刷
頒価300円
申し込み先: info@we21japan.org



WE21ジャパンの活動は、皆さまのご支援で支えられています

会員になって活動にご参加ください

会員ページはこちらから



品物の寄付をお願いします

寄付ページはこちらから



このほか、活動は下記からご覧いただけます



年次報告書を発行しました

*ご希望の方はWE21ジャパンへお問い合わせください

あなたの街のWEショップ

あさお店	042-331-4919
たま店	044-281-7850
たかつ店	044-829-5238
あおば青葉台店	045-982-5581
あおばあざみ野南店	045-915-9606
つづき店	045-948-5596
こうほく大倉山店	045-547-6241
こうほく日吉店	045-563-1808
つるみ店	045-573-3235
みどり店	045-937-2656
かながわ六角橋店	045-633-1537
かながわ大口店	045-435-2258
旭店	045-364-3277
ほどがや星川店	045-334-5140
ほどがや天王町店	045-333-6336
ほんもく店	045-232-4082
みなみ井土ヶ谷店	045-715-4410
いずみ菰丸店	045-801-8965
いずみ領家店	045-813-7739
いずみ中田店	045-802-0095
いそご洋光台店	045-832-3508
さかえ店	045-895-7009
かなざわ店	045-788-4248
よこすか北久里浜店	046-837-1788
横須賀中央店	046-822-0075
さむかわ店	0467-75-8141
藤沢店	0466-24-6002
鶴沼海岸店	0466-37-4621
ちがさき店	0467-88-6015
にのみや店	0463-71-4421
おだわら店	0465-23-2909
いせはら店	0463-96-5752
厚木1号店	046-296-2555
えびな店	046-235-4047
あやせ店	0467-78-8178
やまと店	046-269-1343
ざま相武台店	046-258-3550
相模原南台店	042-746-5571
相模原若松店	042-744-9799

ご来店をお待ちしております!



平和は「対話」によって築いてゆくもの

10月24日(金)、かながわ県民センターにて、沖縄県在住で基地問題に取り組む谷山博史さん(元JVC代表理事)を講師に迎え、WE講座「ゆらぐ日本の平和」を開催しました。当日は日本の軍事化が加速する現状に対する危機感から、市民53人が参加し、熱心に耳を傾けました。



沖縄の人々による辺野古新基地建設への反対運動は28年間続いています。辺野古の埋め立ては2024年末までに総量の16.1%に過ぎないにもかかわらず、2025年度までに予算の81%が支出され、青天井の税金投入がされています。この間、県知事や県民の民意を無視した代執行が行われており、谷山さんはこれを「環境や市民、法に対する国家権力の暴力であり、戦前・戦中の軍の論理の再現だ」と指摘されました。

いほど拡大している現状を、写真を交えて紹介。さらに、谷山さんは政権が進めようとしている「スパイ防止法」の制定も含め、「戦前に近づいている」という実感を語られました。

また、現場から見える「沖縄の軍事化」として、大浦湾の埋め立て工事の着工や「土地規制法」の問題が挙げられました。さらに日米が想定する「台湾有事」により、沖縄の島々は要塞化し、自衛隊の基地拡張や機能強化、日米共同統合演習・訓練がかつてな

そして、沖縄をはじめ社会全体が右傾化している中で、大切なのは一番遠くにいる人や世代を超えた人との「対話」であると強調。異なる意見の人とも対話を重ねることで関係性が変わると話されました。また、情報操作に惑わされず、確かな情報を得るには、現場から事象を見ることが重要であること、さらに「コモンズ」という新しい価値観が特に若い世代に希望をもたらしていることも紹介されました。



参加者からは「日米地位協定」「中国脅威論」「尖閣諸島問題」「対話の必要性」「メディア問題」など、多岐にわたる質問や意見が相次ぎ、予定時間を越えて熱気にあふれた時間となりました。

平和は軍事力ではなく対話によって築いていくもの……軍事国家の道に進ませないために、私たちは諦めずに、一人ひとりが市民力を高める努力を続けていくことの大切さを、改めて心に刻む講座となりました。
黒木 宏子(副理事長)



WE21 Japan Newsletter
2026年1月発行 No.83

認定NPO法人WE21ジャパン 発行責任者 高橋あゆみ
〒240-0003横浜市保土ヶ谷区天王町1-1-1天王町ファーストビル202
TEL 045-489-4223 FAX 045-489-4224
E-mail: info@we21japan.org URL: http://www.we21japan.org/

学び合いから地域社会の課題解決に向けて

～慶南地域自活センター友好交流協定締結式報告～

WE21ジャパンと慶南地域自活センターは、2013年から友好的な交流協定を結んでいます。今回2025年10月17日に開催された慶南地域自活博覧会に合わせて、WE21ジャパンから6人が韓国を訪問し、第3期友好交流協定(2025年1月1日～2029年12月31日)を締結しました。

高橋あゆみ(理事長) 水谷晶子(理事)



友好交流協定締結式

協定のはじまりと意義

韓国では公的扶助制度である「生活保護法」が1961年に制定されましたが、対象年齢の制限や扶養義務者の責任が大きいなどの問題が生じてきました。そこで、国の責任を明確にした「国民基礎生活保障制度」が2000年に施行され、働くことのできる受給者は、就労を通じて自立できるよう、度合いに応じたプログラムに参加することが義務付けられました。これに呼応して、全国の地域自活センターがさまざまな事業を立ち上げ、受給者の自立を支援しています。

慶尚南道地域自活センターはリサイクル事業の推進のためWE21を視察に来訪し、それ以降交流がすすみ、2013年の友好交流協定に結び付きました。

この協定は、環境保全、貧困問題、地域社会問題に対する相互の学びと発展、そして人材育成を目的としています。国境を越えた人と人のつながりを醸成し、互いの活動に新たな視点をもたらし、成長し合える関係を築くための貴重な機会となっています。

新型コロナウイルス感染症の拡大後はオンラインで交流をしてきましたが、今回、久しぶりにセンターの人たちと直接顔を合わせ、対話することができ、この協定の意義を再認識しました。

慶南(キョンナム)広域自活センターとは

慶尚南道に位置する20箇所の地域自活センターで組織された法人で、2025年9月30日現在、20の地域自活センターに合計214の自活事業団があり、2,466人の住民が参加している。事業団から独立して自活企業となった事業は64あり、305人の住民が参加。また、広域自活センターの支援により創業した自活企業は2つあり、4人が参加している。コロナ禍で自活企業が廃業するなど景気の低迷により徐々に減少している。

市民力がすすめる福祉政策

慶南地域自活センターの事業の一つである家具の修理・販売を行うリサイクルセンターでは、技術を習得して修理の資格を取り、質の高い家具を販売していました。また多回容器洗浄事業からも、環境問題と貧困問題を同時に解決する実践的な取り組みを学び、支援モデル構築のあり方について考えるきっかけとなりました。

それは韓国の国民基礎生活保障法の「一人ひとりが人間らしく暮らす権利を保障する」という考え方が、実際の福祉政策で実現され自立への道を可能にしていることです。日本のセイフティーネットとの違いを間近に学びました。

WE21ジャパンは公正で公平な社会を目指していますが、そのためにも市民やつながりのある困窮者支援団体と連携して、現場の声に耳を傾け、可能なところから課題を解決していきたいと思えます。

草の根の交流を大切に、第3期の協定締結へ

友好協定締結式会場には、20の慶南地域自活センター事業所の職員を含む200人が参加し、参列者からは10年以上にわたり市民レベルの交流が続いていることに驚きと賞賛の声が上がりました。

歴史的な課題を抱えつつも、共通の価値観を持つパートナーとして、市民同士が未来志向の関係を築こうという歓迎の雰囲気は大きな感動でした。

組織の成り立ちの違う自活センターとWE21ですが、今後も協定の目的である「環境保全、貧困問題、地域社会の課題についてお互いの価値観や実践を学び、相互の発展に貢献すること」「交流を通じて両者が研修機会を提供し、人材育成に努めること」に基づき、草の根レベルでの交流を大切に、学びを深めていきたいと思えます。

地域自活センター訪問をとおして、環境負荷の低減と経済的弱者への雇用創出を両立させていることや、地域に根差した多様な自立支援の形を知ることができました。



博覧会場でWE21ジャパンメンバー



WE21ジャパン紹介パネル

博覧会ブースでは、ゲームやワークショップ、試食などを体験したり、触れあい、交流して理解を深める工夫が随所にちりばめられており、まずは活動を知ってもらおうという姿勢を学びました。WE21ジャパンもブース出店し、フェアトレード商品と環境に配慮したみつろうラップを販売し、多くの方たちと交流することができました。



右キメ地域自活センターのブース左WE21ジャパンのブース

慶南地域自活センター訪問

★鎮海(チネ)地域自活センター

♡ハッピードリーム事業団

①リサイクルセンター

家具を引き取り修理し、市場価格の1/3程度で販売。店舗は、鎮海(チネ)市の持ち物で無料。修理担当者は、自活センターで技術を習得し、資格も取得しているとのこと。どの家具も綺麗で素敵、そして格安でした。

ハッピードリーム事業団の家具修理販売場



②リサイクルセンター内併設の

ゼロウェイストショップ

自然素材で作ったフキン、石けん、木製品、竹製品等を販売。レイアウト等は職員が行っているとのことですが、見やすく綺麗で思わず手に取ってみたいくなるようなディスプレイは勉強になりました。環境に優しい生活に興味がある方に向けた書籍を紹介するコーナーもありました。

★威安(ハマン)地域自活センター

①カフェ事業

2023年にユネスコ世界文化遺産に登録された伽耶古墳の一つのハマンマリサン古墳群の中にあるハマン博物館内のカフェは3名のスタッフが2名ずつ交代で運営。古代ハスの花をモチーフにしたお菓子はここでしか食べられない大人気商品でした。

♡クリーンケア事業団

韓国ではプラスチックの使い捨て容器をやめ、環境に配慮した生活への転換を促す政策が進められ、このセンターでは、2022年から主に保育所で使う給食用多回容器洗浄事業を行っています。容器はバーコードで管理されており、デジタル化が進んでいました。

♡カフェ併設のワークショップセンターで子どもたちへの資源環境教育および体験プログラム

・枕の下に入れて寝ると心配事や不安がなくなると言われている「心配人形」制作:さまざまな糸や編み方で作ることで資源循環の意味を学んでいます。

・コーヒーかすを固めて作った人気の虎のキャラクター「ダフィー」のカードスタンド制作:コーヒーかすを焼却すると二酸化炭素の34

倍もの温室効果ガスのメタンが排出されることや資源の無駄遣いを減らし、環境を守ることを学んでいます。



ゼロウェイストショップ

②自活センターから自立したベトナム料理店

自活事業団運営のベトナム料理店で修業した2人が独立して起業したレストランで昼食をいただきました。威安市は海外からの移住者が多い地域でベトナム人も多く、ベトナム料理は健康的ということで人気があり、開店したとのこと。昨年1年間で1億ウオン(約1,200万円)の売り上げがあったとのこと。